

令和2年6月1日

技術管理課長

さいたま市営繕工事における熱中症対策に係る費用について

近年の夏季における猛暑日の増加などの気候状況を考慮し、建設現場における安全対策の一環として熱中症対策を進めるために、さいたま市の営繕工事における熱中症対策に係る費用について、当面の間、下記のとおり取り扱うこととしましたので、お知らせいたします。

記

1. 対象工事

さいたま市建設局建築部が発注する工事のうち、さいたま市公共建築工事積算基準に基づき積算する全ての営繕工事とする（既契約工事及び入札手続き中の工事を含む）。

2. 工事費への費用計上の考え方

以前から、一般的な熱中症対策に関する項目（別表参照）は、共通仮設費率及び現場管理費率等に含まれており、当初工事費に費用計上されているところであるが、熱中症対策として、以下のような項目を実施する場合には、受発注者間で必要な設置期間等を協議し、受注者による施工計画書への反映及び実施状況の確認を行った上で、設計変更により対応できることとし、当初工事費には費用計上を行わない。

- (1) 遮光ネット（足場に設置するものに限る）
- (2) ドライミスト
- (3) 暑さ指数（WBGT値）の計測装置

当該項目に係る費用の積算にあたっては、見積価格等を参考として、(1)については直接工事費に計上し、(2)及び(3)については共通仮設費に積み上げ計上する。

(別表)

一般的な熱中症対策に関する項目（共通仮設費率及び現場管理費率等に含まれる項目）

- ・ 作業場用大型扇風機
  - ・ 作業場換気用送風機
  - ・ エアコン、シャワー室、給水器、冷蔵庫、製氷機
  - ・ 熱中飴、タブレット、経口補水液の常備
  - ・ 遮光チョッキ、空調服
- 等